

# 令和2年度記録技術研修（障害児者分野） 開催要綱

## 1 目的

障害児者を支援する社会福祉施設において、日々の記録は、職員間で情報を共有し、共通認識のもとで支援を提供するために大変重要です。また、リスクマネジメントの観点からも適切な記録方法が求められています。

本研修は、2つのコースを設け、「基本コース」では、記録の目的や意義、適切な記録を作成する上での押さえるべきポイント等の基本的な知識・技術を習得し、「実践コース」では、記録の基本を踏まえながら、自立支援につなげるための記録に必要な観察力やリスクマネジメントの観点、個別支援計画と連動した記録の作成方法等の実践的な知識・技術を習得し、日常業務の円滑な遂行やサービスの質の向上を目的として開催します。

## 2 主催

社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会

## 3 期 日

- (1) 基本コース 令和3年1月21日(木)
  - (2) 実践コース 令和3年1月22日(金)
- 両コース受講することも可能です。

## 4 会 場

クローバープラザ 東棟5階 508研修室  
春日市原町3-1-7

## 5 受講対象者

障害児者福祉施設・事業所等の役職員

「実践コース」については、事前課題を研修当日に持参できる方に限ります。

## 6 定 員

各コース 72名

定員に達し次第、締め切らせていただきますので、あらかじめ御了承ください。  
定員超過等で受講をお断りする場合は、その旨本会から連絡します。

## 7 受講料

各コース 5,000円

研修当日に受付でお支払いください。

おつりの無いよう御協力ください。

お支払いいただいた受講料は返金できませんので、御承知おきください。

## 8 日 程（各コース共通）

	10:00	12:00	13:00		16:00
受付	開会	講義・演習	昼食 休憩	講義・演習	閉会

9:50

9時50分までに受付を済ませてください。

## 9 内 容

### （1）基本コース

記録の目的や意義、適切な記録を作成する上での押さえるべきポイント等の基本的な知識・技術を学びます。

	内 容
講義・演習	記録の目的と意義 記録の書き方の基本 利用者理解の視点とポイント 持っている力を生かす支援（ストレングスモデル） 質の高いサービス提供のための記録の方法

### （2）実践コース

記録の基本を踏まえながら、自立支援につなげるための記録に必要な観察力やリスクマネジメントの観点、個別支援計画と連動した記録の作成方法等の実践的な知識・技術を学びます。

	内 容
講義・演習	記録の書き方・読み方・生かし方 個別支援計画と連動した記録 リスクマネジメントと記録の重要性 SOAPを活用した記録の書き方 限られた時間で効率良く、十分な記録を残すには

### ア **重 要** 事前課題について

実践コースでは、受講者が所属先で使用している記録様式を活用し、グループ討議を行います。そのため、実際に記録した事例を1名選定し、サービス提供事業所の場合は「個別支援計画」「モニタリング票」等、相談支援事業所の場合は「サービス等利用計画（障害児支援利用計画）」「モニタリング票」等、保育所の場合は「保育計画」等を各自5部コピーして研修当日に持参し、事務局に1部提出してください。残り4部はグループワークで使用します。

事前課題を研修当日に持参できない場合は受講できませんので、予め御了承ください。

## イ **重要** 事前課題の留意点

- (ア) 「個別支援計画」「モニタリング票」「サービス等利用計画(障害児支援利用計画)」「保育計画」等は普段、所属先で使用している様式を持参してください。
- (イ) 記録様式等は所属先の承認を得て持参してください。
- (ウ) 事例は個人が特定できないよう配慮してください。例えば、利用者名・機関名等は「Aさん」「B病院」等とし、個人等が特定される名称は一切記入しないでください。
- (エ) 記録様式等の右上に、受講者の「施設・事業所名」「氏名」を記入し、左上をホッチキスで留めてください。

## 10 講師

Social work らぼ

代表 田畑 寿明 氏(介護支援専門員、社会福祉士)

### [プロフィール]

田畑氏は、現職の傍ら、日本相談支援専門員協会アドバイザー、日本社会医療学会理事を務められています。

また、看護専門学校講師の他、全国各地において相談支援や記録に関する講義を行う等、多方面で御活躍されています。

## 11 研修実施方法について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、3密(密閉・密集・密接)を避ける必要があることから、演習については、原則、個人ワークで行います。

また、感染症対策を講じたうえで、必要に応じてペアワーク(1対1)・複数名(4名程度)の演習を行うことがあります。

## 12 申込方法

本会では、各社会福祉施設・事業所における研修申込の利便性の向上を目的として、Webによる受講申込を推進しています。

### (1) Web申込の場合

本会研修課ホームページの「研修管理システムログイン」から各施設・事業所に発行されている事業所コード・パスワードでログインし、受講申込ができます。

#### 【事業所登録がお済みでない施設・事業所】

本会研修課ホームページの「研修管理システムログイン」から事業所登録をお願いします。事業所コード及びパスワード設定通知は数日以内に発行されます。

### (2) FAX申込の場合

ア 別紙「受講申込書」に必要事項を記入の上、下記事務局あてFAXでお申込みください。

イ FAXの送信エラーにより「受講申込書」が受信できない場合は、受講できませんのでFAX送信確認について、十分御注意ください。

## 13 申込締切

令和3年1月8日(金)必着

- 14 受講決定について  
受講は先着順に決定し、受講できない場合のみ御連絡します。
- 15 個人情報の取り扱いについて  
「受講申込書」に記載された個人情報は、本研修の運営管理の目的にのみ利用させていただきます。
- 16 天災等の災害による研修の延期等について（ホームページへの掲載について）  
(1) 天候不良等のため研修の開催が危ぶまれる場合には、研修前日の17時までに本会研修課のホームページに延期する等のお知らせを掲載しますので、各自確認をお願いします。  
URL ( <http://www.fuku-shakyo.jp/kenshu/> )  
(2) 施設等でのホームページ閲覧ができない方についてのみ、本会から受講申込書に記載の緊急連絡先に連絡を行いますので、必ず御記入ください。

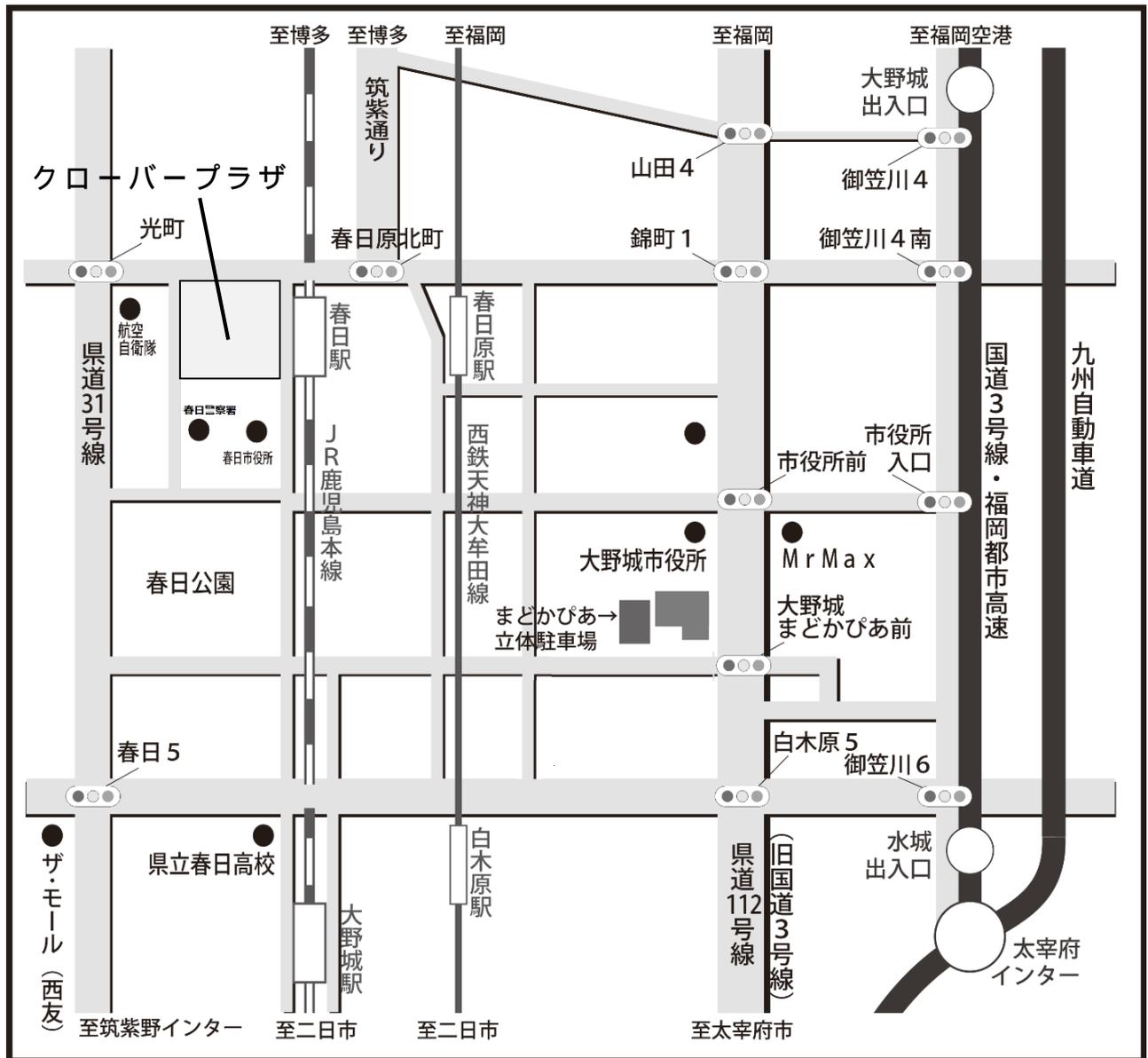
新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、研修を中止・延期する場合があります。あらかじめ御承知おきください。

- 17 感染症予防対策について  
(1) 研修参加にあたっては、職場の同僚や同居家族等の周辺においても、感染者又は濃厚接触者が発生していないか、咳・発熱・倦怠感等、風邪のような症状がないか確認いただき、研修当日は検温を行った上で研修会場へお越しくください。発熱や咳等の風邪症状がある方や体調不良の方は、受講を御遠慮ください。  
なお、受付時に健康状態の確認（同居家族を含む）をさせていただきます。御協力をお願いします。  
(2) クローバープラザ入館に際し、体温測定（サーモカメラ）及びマスクの着用が義務付けられています。御協力をお願いいたします。  
(3) 消毒液の配置と研修会場の換気を行いますので、御協力をお願いいたします。  
(4) 研修中は常にマスク着用の御協力をお願いします。
- 18 その他  
(1) 当日は主催者による駐車場の確保はできません。  
(2) 昼食は各自で準備してください。  
(3) 研修会場は、個人の状況に合わせた室内温度調整はできません。温度調節が可能な上着等を準備し御参加ください。  
(4) 研修を欠席される場合は、事前に事務局まで御連絡をお願いします。

19 事務局（申込先）

社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会 県民サービス部 研修課 担当 松田、糸山  
〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ東棟4階  
TEL 092-584-3401 FAX 092-584-3402

# 会場案内図



J R春日駅から徒歩1分

西鉄春日原駅から徒歩8分

春日公園への駐車は、公園利用者の妨げとなりますので御遠慮ください。